

ボンベ型熱量計

装置概要

密閉された金属容器(ボンベ)内で燃烧させたときに变化する一定容量の水の上昇温度から物質の燃烧熱(発熱量)を測定することができます。

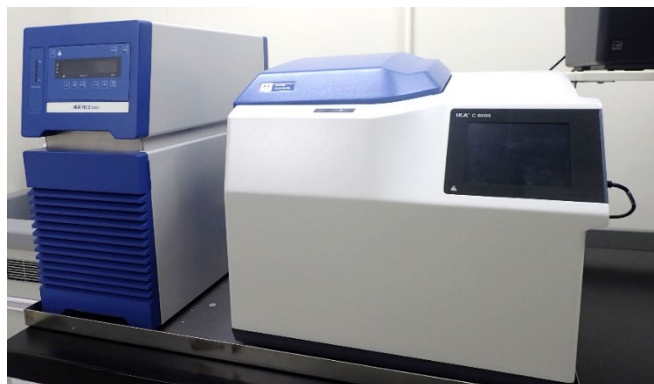
測定方法はJIS K 2279、JIS M 8814、JIS Z 7302に準拠しております。

総発熱量は燃烧ガス中の水蒸気を持つ凝縮潜熱および顕熱を含めた値で、真発熱量は潜熱・顕熱を除いた値を表します。

石炭・コークス・食品・飼料・廃棄物・重油等あらゆる燃烧可能な物質の発熱量を測定できます。

燃料油は金属ルツボに採取し、揮発性の高い燃料油はゼラチンカプセルに封入して測定します。

固体試料は均質な試料にするために微粉碎した後、発熱量測定用のガンピ紙に包んで測定します。ゴミ等微粉碎後の試料が嵩高いものはペレット状に固めて測定します。



IKAジャパン社製
C6000 カロリーメーターシステム
(C6000 global standard)



測定用ボンベ



左から
試料ペレット(ごみ)
ゼラチンカプセル
測定用ルツボ



左： 石炭 約33000 J/g
右下： RDF
右上： RDFを微粉碎 約22000 J/g



左： JP-4(航空燃料) 約47000 J/g
右： A重油 約45000 J/g

川重テクノロジー株式会社

分析・環境評価

URL: <http://www.kawaju.co.jp>

お問い合わせは

明石 078-921-1663
神戸 078-682-5258
東京 03-3435-2485